

11月9日～15日
秋季全国火災予防週間です!

【火事が多くなる季節です。火の用心!】

秋と冬は全国各地で、火事が非常に多くなる時期です。ではなぜ、秋や冬は火災が多くなるのでしょうか?

原因のひとつは湿度にあり、春や夏と比べると秋や冬の湿度は、非常に低くなります。落ち葉をイメージすると分かりやすいですが、乾燥しているものや湿度が低い空気は、火がつきやすいです。

また暖房器具である、ストーブやヒーターなどを使うことによって、さらに部屋の湿度は下がります。このように秋や冬の環境は、自然と火がつきやすい状況を作りだしてしまいます。

空気が乾燥してくると体調も崩しやすくなってきますので、火の元の取り扱いとともに、ご自身と家族の健康管理も気をつけていきましょう。

4つの習慣



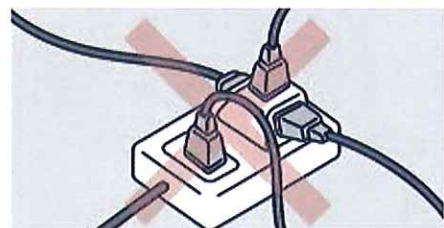
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

11月5日は

津波防災の日 世界津波の日

海の近くでゆれたら、

すぐに避難！



・平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓として、同年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。

・「津波防災の日」の由来は、嘉(か)永(えい)7年(1854年)11月5日

安政南海地震(M8.4)で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れた人たちを高台に避難させて命を救った「稲村の火」の逸話にちなんだ日です。この日を機会にあらためて地震や津波への対策を確認しましょう。

(内閣府・ホームページより)



活動報告

- 4月 新入団員救命講習
- 5月 幹部研修 熊本地震復興
県防災訓練 始良
- 6月 阿久根市内防災訓練
- 7月 阿久根市内小学校等救命講習
操法大会

